



平成22年5月10日

各 位

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
代表者 代表取締役社長 炭井 孝志
(JQ・コード番号2915)
問合せ先 常務取締役 奥田 洋
電話番号 03-5962-7777

業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年11月10日に公表いたしました平成22年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成22年3月期通期 業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,200	2,300	2,200	870	67.53
今回修正予想 (B)	51,101	2,951	2,853	1,445	112.18
増減額 (B-A)	△ 98	651	653	575	—
増減率 (%)	△ 0.2	28.3	29.7	66.1	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成21年3月期)	53,193	977	920	300	23.36

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,300	2,050	2,000	850	65.98
今回修正予想 (B)	42,582	2,576	2,543	1,367	106.15
増減額 (B-A)	282	526	543	517	—
増減率 (%)	0.7	25.7	27.2	60.9	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成21年3月期)	44,667	869	855	394	30.66

2. 業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想の修正理由

当社グループにおきましては、この平成22年3月期を初年度とする新中期経営計画『KENKO Victory ROAD 2009（以下、KVR2009）』をスタートさせております。この計画は「時代の変化に対応できる筋肉質の体制作り」を指針として掲げており、売上高は減少しても安定した収益を確保できる経営体質を作り上げる事を目指しております。この指針に基づき、当期の業績予想は売上高は前期を下回るものの、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ増益となる目標を策定しております。

当期の販売施策につきましては、食品業界における消費の落ち込みと物価下落圧力の強まりという厳しい経営環境の中、KVR2009の指針に基づき、以下の事を重点に行いました。

①新機軸商品であるディライトシリーズ、低カロリーシリーズ、クッキングソースシリーズの品揃えを増やし積極的に拡大する事②新規需要拡大の為、分野に特化した新商品を中心としてシリーズ化し市場に浸透する事③使い易さを重点に主力商品に容量を揃えた形態戦略による顧客の拡大を図る事、これらにより販売数量の減少を最小限にとどめる事ができ売上高目標をほぼ達成できました。

利益面につきましては、穀物や鶏卵相場等の原料事情が落ち着きを見せたこと、前述の製品別・分野別商品の開発、商品の絞込みや拠点の集約、生産性改革による製造コストの低減、物流費を中心とした販売管理費の低減等に努めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

今後も消費の低迷と物価の継続的な下落、穀物原料価格やエネルギー価格の変動が予想され、予断を許さない環境が続くものと思われまます。当社グループにおきましては、安定した収益を確保できる経営体質作りを進めて参ります。

(2) 個別業績予想の修正理由

個別業績予想につきましては、連結業績予想の修正と同じ理由であります。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上